

鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会講演

育つ力を引き出し、生きる力を育むコミュニケーション



対話教育研究所
Dialogue Education Labo

小山英樹

当講演のスライドには、誰にとっても読みやすいUD(ユニバーサルデザイン)フォントを用いています。

小山英樹 (こやまひでき)

一般社団法人日本教育メソッド研究機構 代表理事
一般社団法人日本青少年育成協会 理事・教育メソッド普及委員長
株式会社対話教育研究所 代表取締役
京都市在住

1965年 京都府綾部市生まれ

1988年 私立高校教諭に

1994年 民間教育機関入社

1999年 コーチングの研究開発開始

2005年 コーチング事業開始(日本青少年育成協会)

2014年 アクティブラーニング事業開始(日本青少年育成協会)

2016年 株式会社対話教育研究所設立

2019年 日本教育メソッド研究機構設立





与える・教える・させる

否定する 批判する 文句を言う
指示する 命令する 脅す 責める 罰する
無視する 比較する 手取り足取り提供する
問い合わせる おだてる 褒美で釣る



防衛モード

逃避する
他責する
依存する

○○が無い

必要なものを持っています



引き出す・任せる・見守る

傾聴する 承認する
興味を持って質問する 反映する 提示する
受容する 支援する 励ます 尊敬する
信頼を伝える 愛を伝える
意見の違いを交渉する



成長モード

傾聴する
省察(Reflection)する
観点・解釈を転換(Reframing)する
自ら思考する 自ら行動する
協働する 対話する チャレンジする

A dense field of stars of various colors (blue, white, yellow, red) against a dark background. Several bright, glowing nebulae are visible, with one prominent blue and white nebula in the center-left and another large, reddish-orange nebula on the right.

人は総である

強い順に並べてみましょう



A | B
C | D



非認知スキル

ペーパーテストで測定できない力

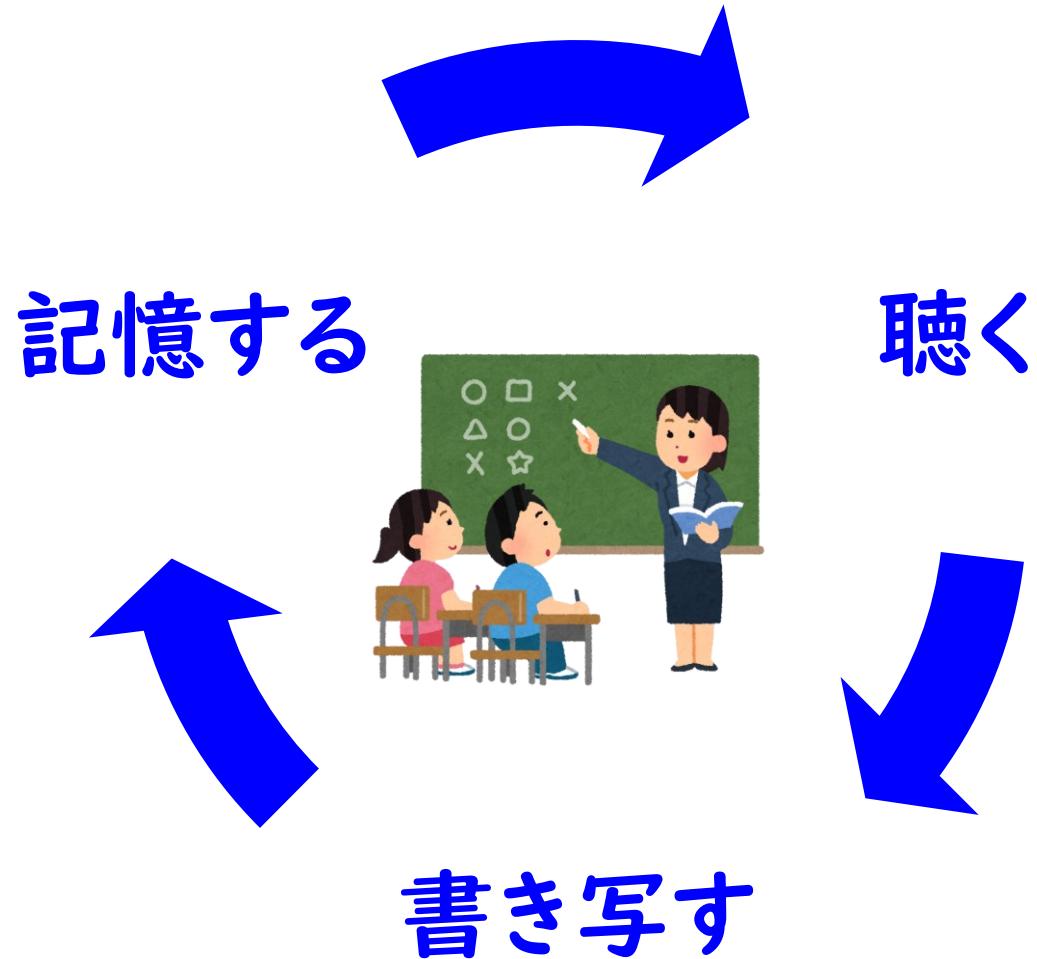
自己認識	やり抜く力、自分を信じる力、自己肯定感など
意欲	学習志向性、やる気、集中力など
持続力・忍耐力	ねばり強く頑張る力
セルフコントロール力	自制心、理性、精神力など
メタ認知	客観的思考力、判断力、行動力など
社会的能力	リーダーシップ、社会性、思いやりなど
回復力・対応力	応用力、楽觀性、失敗から立ち直る、学ぶ力
クリエイティビティ	創造力、工夫する力
性格的な特性	神経質、外向的、好奇心、協調性、誠実

Society5.0

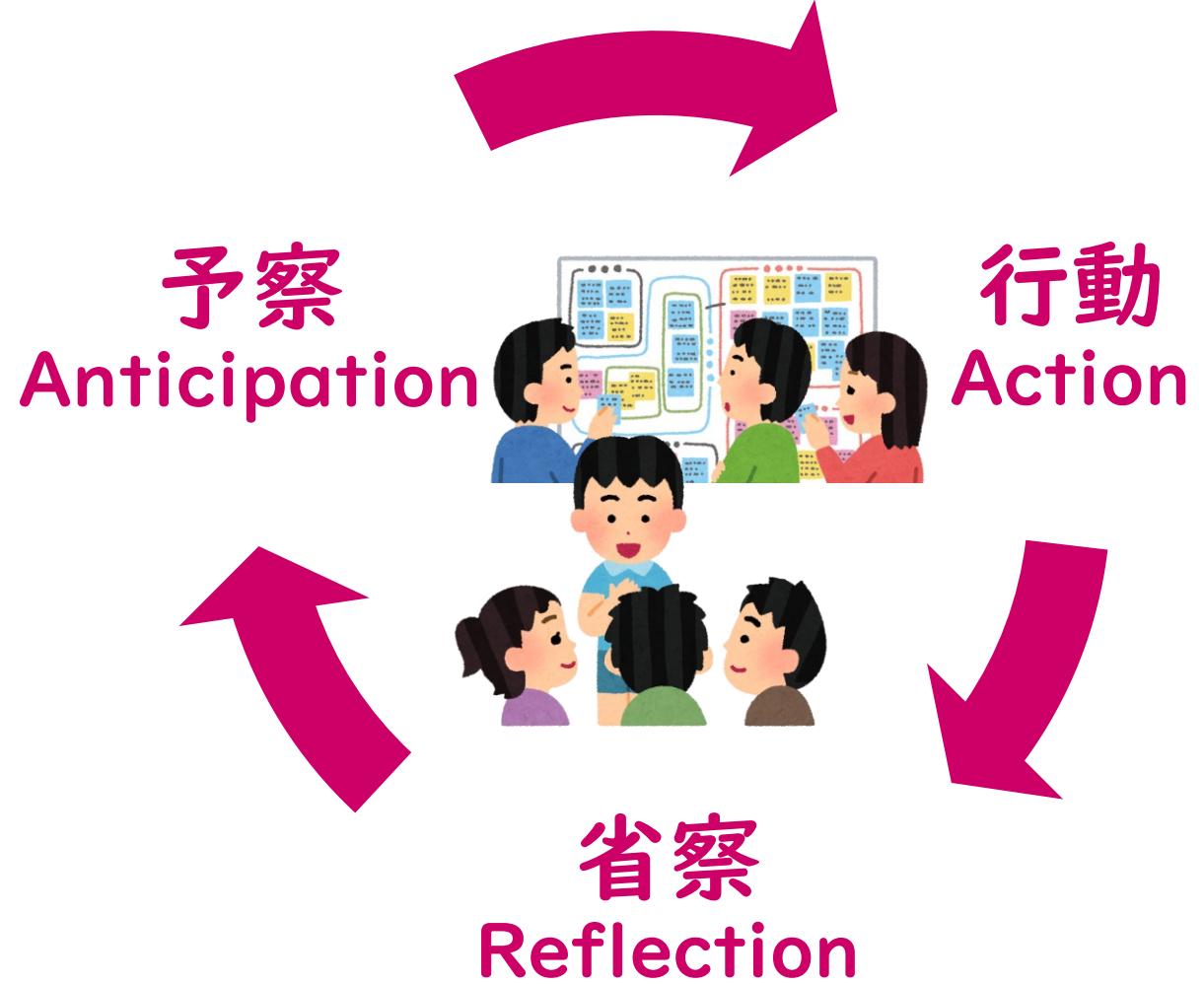
数万年間
数千年間
数百年間
数十年間
数年間



KKKサイクル



AARサイクル



「AARサイクル」の支援

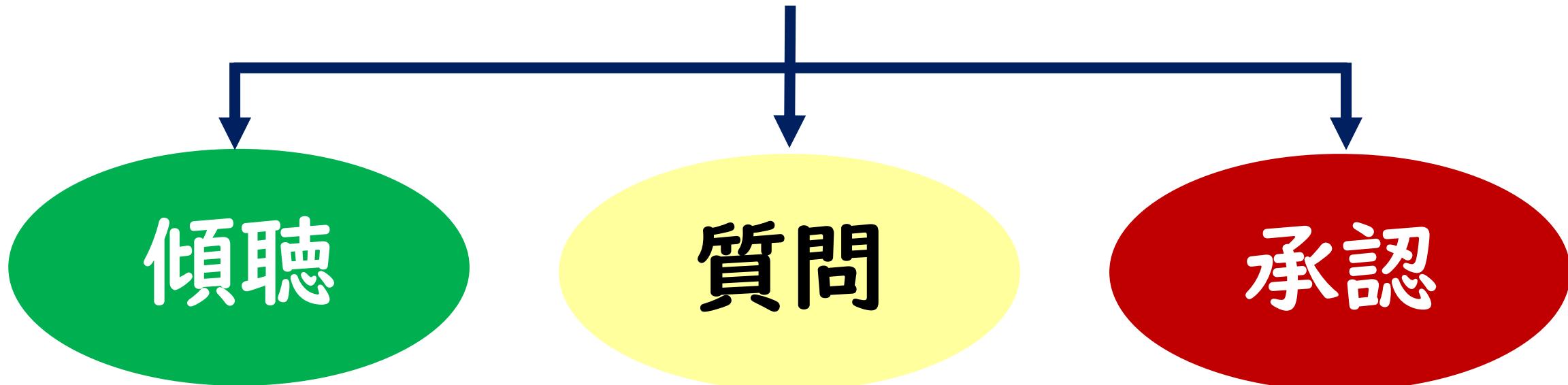
提供したい 学びの機会	ポイント	先生の関わり例
自分で 考えてみる 予察 Anticipation	<ul style="list-style-type: none"> ・なんのためか(目的) ・どうしたいのか、何が欲しいのか(目標) ・どうしたらうまくいくのか(手段・方法) ・やつたらどうなるのか(結果予測) 	<p>「どうしたいの?」「何が欲しいの?」</p> <p>「どうしたらうまくいくと思う?」「どんな作戦?」</p> <p>「どうなりそう?」</p> <p>「先生は、どんなお手伝いをしたらいい?」</p> <p>「よし、やってみよう!」「できるよ!」「応援してるよ」</p>
自分で やってみる 行動 Action	<ul style="list-style-type: none"> ・計画通りやる ・軌道修正、工夫しながらやる ・人にサポートを求める ・やりとげる 	<p>「どのぐらいできた?」</p> <p>「作戦は、どのくらいうまく進んでる?」</p> <p>「調子はどう?」</p> <p>「どんな工夫をしているの?」</p> <p>「あとどのぐらいかかりそう?」</p> <p>「がんばってるね!」「かっこいい!」「見守ってるよ」</p>
自分で 振り返る 省察 Reflection	<ul style="list-style-type: none"> ・できたのか、できなかつたのか ・その要因 ・どんな気持ちなのか 	<p>「どうだった?」「どうなつた?」</p> <p>「やってみてどうだった?」</p> <p>「どのぐらい満足?」</p> <p>「何が良かった?」「何がもとで失敗したの?」</p> <p>「どんな気持ち?」</p> <p>「がんばったね」「すてき!」「先生感心したよ」</p>

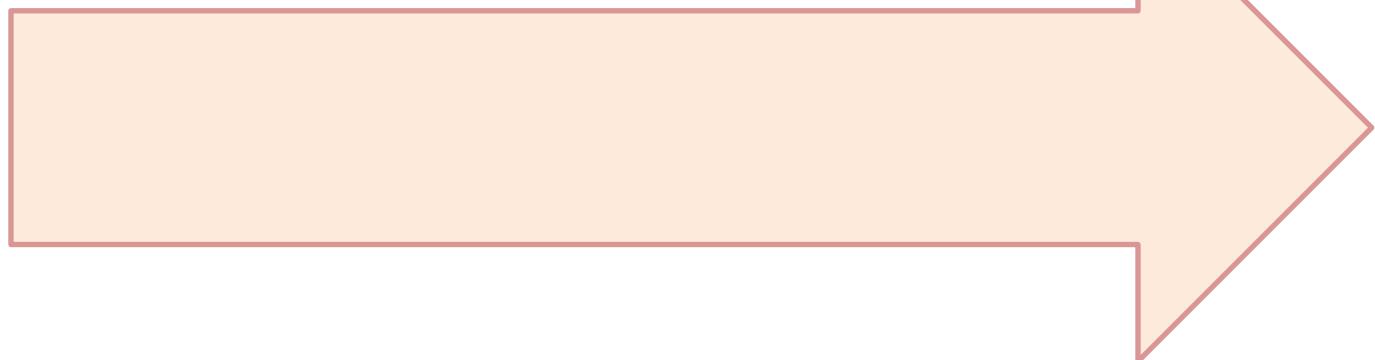
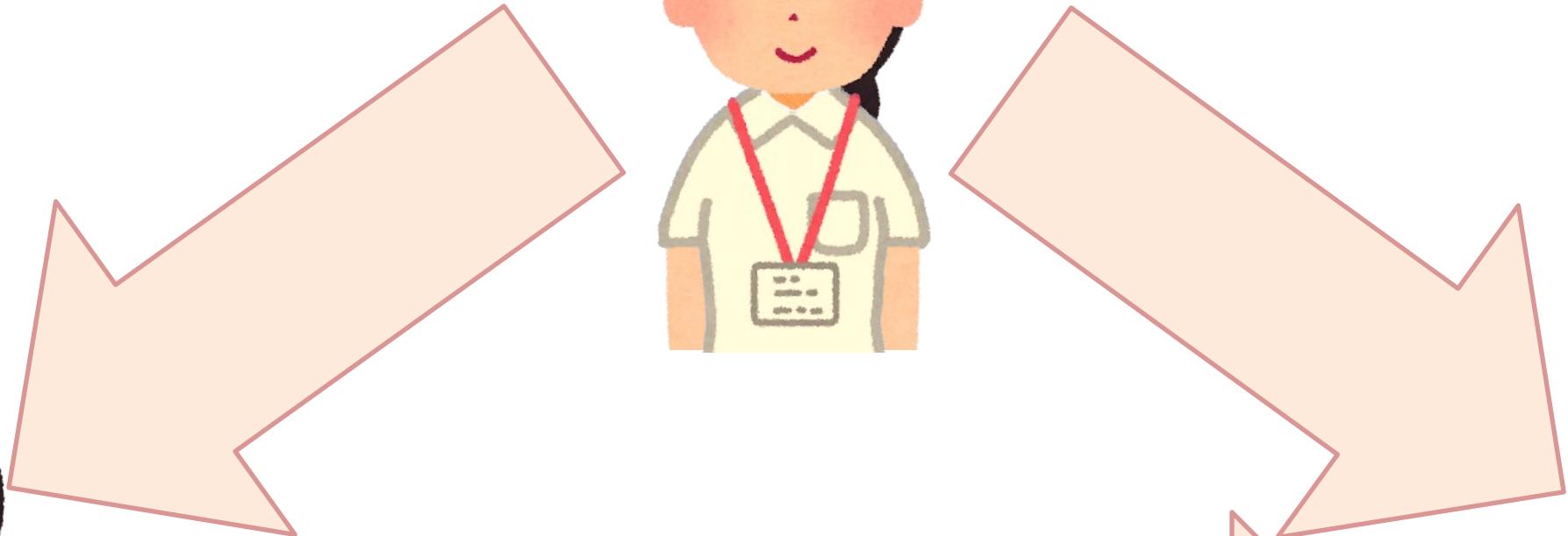
子どもの必須栄養素は、

愛・信頼

そのうえで、

思考と対話の機会を提供する





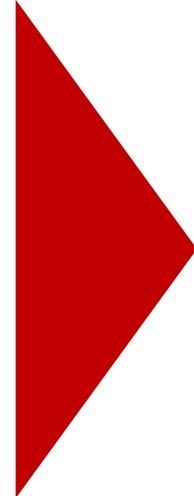
傾聴

相手の言葉とムードを受け取る



ママさんも、子どもたちも、同僚も、
悩み、迷い、不安、不満、課題を抱えて
今日も頑張っている。

話す(放す)とスッキリ楽になる。
話す(離す)と見えてくる。





Aちゃんなんて大きらい！

先生の言葉	コ～ラッ! そんなこと言っちゃダメ! 大切な友達でしょ?	そうか、大きらいか 気持ちが伝わってくるよ
子どもの解釈	気持ちを受け取ってもらえない 否定された 拒絶された	気持ちを受け取ってくれた 理解された 承認された
子どもの感情	ムカつく・イライラする 悲しい・寂しい	うれしい ありがとう 仲良くしてみようかな
子どもの学び	口を開かないほうが安全 ぼくはヒドい子だ	ぼくには理解者がいる ぼくには支援者がいる

は～
ふ～ん
へ～
ほ～

でも
いや
しかし
~~とは言っても~~

質問



興味から相手に問い合わせる



やっぱできない～ ムリ!

← 質問してみましょう

本当にがんばったの?

閉じた質問

やり方聞いてた?

なんでできないの?

なぜ質問

どうしてあきらめるの?

①今、どんな気持ち? どう思う?

②何がジャマしてるんだろう? 何が足りないんだろう?

未来肯定質問

③何があったら(どうしたら)できるんだろう?

④やりたい気持ちはどのくらい?

⑤もしできたらどうだろう? できたらどんな気持ちだろう?

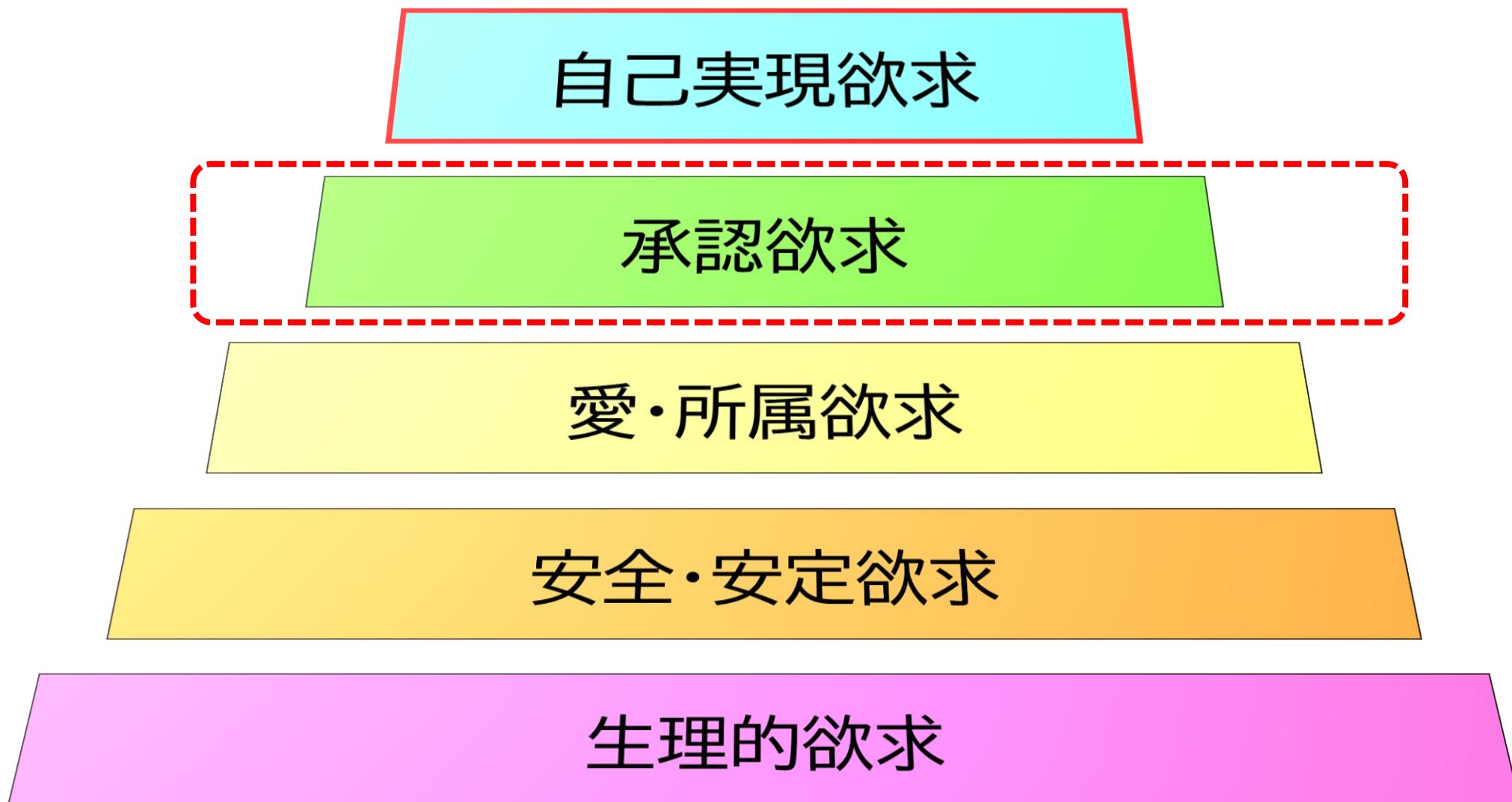
⑥次はどうしたい?

承認



相手の存在そのものを認め、伝える

5段階欲求



アブラハム・マズロー

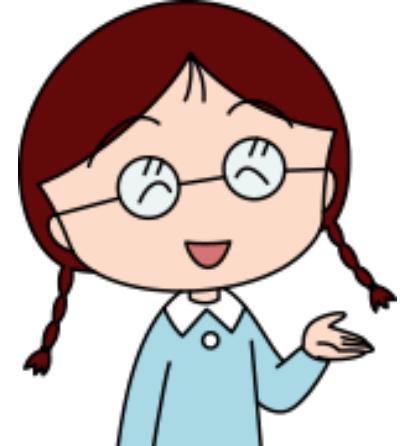
未来承認

	①過去・現在承認	②未来承認
定義	過去から現在の状態を認める 承認メッセージ	未来を認める 承認メッセージ
例	よく努力した 成績が上がってきた 素晴らしい結果だ しっかりサポート出来たね うまくいった 優しい性格だね ラッキーだったね	これから君は努力し続ける 成績が上がっていくはずだ 結果が出るのを楽しみにしているよ 子どもたちに愛される先生になれるよ きっとうまくいく 優しい人として生きていくはずだ たくさんのラッキーが訪れるよ

存在承認

	①結果承認	②行動承認	③存在承認
定義	できたことを認める	行動・プロセスを認める	存在を認める
例	ほめる たたえる 評価する 叱る 感謝する Youメッセージ		あいさつする 名前を呼ぶ 変化に気付く 声掛けをする 任せる 役割を与える 誘う 祝う 話を聞く 手紙やメールを送る プレゼントを渡す 過去の話や記念日を覚えている ほかの人に紹介する 感謝する Iメッセージ

個性対応承認

メンティ の 行動特性	① リーダー性が高い 親分肌 負けず嫌い 達成意欲が高い	② 明るく社交的 元気 ムードメーカー ひょうきん	③ 学究肌 几帳面 理論的、分析的 冷静沈着	④ 縁の下の力持ち 気配り 調整役 サポーター
定義	他者への影響を認める 承認メッセージ	興味関心を伝える 承認メッセージ	情報やスキルを認める 承認メッセージ	他者貢献に感謝する 承認メッセージ
例	影響に注視して	変化に注視して	知見に注視して	貢献に注視して
				

Youメッセージ／I・Weメッセージ

	Youメッセージ	Iメッセージ	Weメッセージ
定義	主語あるいは主体者が 「あなたは」 の承認メッセージ	主語あるいは主体者が 「私は」 の承認メッセージ	主語あるいは主体者が 「私たち」 の承認メッセージ
例	すごい えらい よくがんばった りっぱだ 早い たくさんできた よしよし、よくできた さすがだ 素晴らしい	(私は)うれしい (私は)感激した (私は)びっくりした (私は)感心している (私は)信頼している (私は)大好きだ (私は)楽しい (私は)元気になる (私は)見倣したい	私たちちはうれしい 一同感動した 部長もびっくりしていた 先輩はみんな感心してる 私も他の先生たちも信頼している 学校にとって誇りだ チームの士気が上がった みんなが笑顔になってる 子どもたちがお手本にしている

関心を持たれている 大切にされている
認められている 理解されている
愛されている



そう実感したとき、人は

自己成長力

を発揮し、主体的・意欲的な行動を始める

カール・ロジャース